



- ・実際にケア行っている高齢者をケーススタディとし、多職種がそれぞれの役割から関与してケアの見直しを図るとともに、最適なケアプランに結びつけるノウハウを身に付けるための研修会を開催する。
- ・研修成果を各3会場で発表し、他の事業者や地域包括支援センター、医療関係者等幅広く参加を得ることにより、事例を通じた多職種連携の意義を周知啓発する。

○対象者

- ・多職種が連携した居宅介護支援事業者（ケアマネジャー）、訪問介護（ヘルパー）、通所介護（デイサービス）、医療関係者（訪問看護、在宅医療関係者）等

（3）県負担・補助率の考え方

在宅介護サービスを普及するうえで、県として負担する必要性が高い。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,500	多職種連携アセスメント研修の実施
合計	1,500	

**決定額の考え方**

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

- ・第8期岐阜県高齢者安心計画「施策の推進」（在宅医療・介護連携の推進）に位置付けられている。

（2）事業主体及びその妥当性

- ・県内において広域的に連携する多職種の専門家に対して研修を行う必要があることから、県が実施主体となることが適切である。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

医療・介護に携わる多職種専門家が、それぞれの専門的知見から在宅の要介護高齢者にチームで向き合い、連携を図りながら最適なケアができるよう、多職種連携の意義の理解を深め、そのノウハウを持った事業所、各圏域におけるチームの育成を実施する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H24)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	R5年度 目標 (R5)	達成率
研修参加事業所数 (実数)	0	812	862	912	962	84.4%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>「多職種連携アセスメント」研修会</p> <p>① 第1回地域別研修：7/14、7/16、7/19、8/18、8/20、アセスメントの擦り合わせ、具体的な目標の設定</p> <p>② 第2回地域別研修：10/7、10/13、11/12、11/13、11/18</p> <p>医療と介護職種間の連携強化、中間総括を踏まえたケア計画</p> <p>・研修修了者が本研修で培った実践的な経験を生かし、各圏域において利用者の生活リズムに合わせ、多職種が連携した、きめ細やかなケアの普及が図られた。</p>
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	平成30年度からの第7期岐阜県高齢者安心計画における「多職種（医療・介護）連携の促進」の取組を本格化させるため、在宅介護サービスの充実について、県として取り組む必要性が高い。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	ケアプラン作成に携わる事業所、訪問介護サービスを提供する事業所を中心に、多職種かつ多様な事業者を対象にケーススタディ中の研修を実施している。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	医療関係者を含めた多職種かつ多様な事業者と一緒にケーススタディを行い、多職種が連携することと共通理解を持つための研修を実施している。

### (今後の課題)

研修の形態として参加人数が伸びにくいものとなっているので、研修の質を保ちつつ、効率よく多職種連携を普及させることができるよう工夫が必要。
--

### (次年度の方向性)

在宅生活を送る要介護高齢者は今後も増加が見込まれ、在宅介護サービス提供に携わる県内事業者の質の向上と、多職種の関係者との連携ノウハウの習得が求められるため、今後とも事業を継続する必要性が高い。
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】
--	-------